

江戸・東京歴史文化ルネッサンス（保存版）

ビヨンド2020

江戸・東京歴史文化ルネッサンス ビジョン・5カ年基本計画(案)

一般財団法人 江戸・東京歴史文化まちづくりルネッサンスの会
(旧名称) 江戸城天守再建ルネッサンス (略称)

目次

	頁
新基本構想	1
江戸城天守再建から、天守と本丸御殿等の復元に向けて 都市の品格を創り出す 江戸・東京歴史文化ルネッサンス ビジョン・5カ年基本計画（案）	2、3
江戸城天守再建から、天守と本丸御殿等の復元に向けて 江戸・東京歴史文化ルネッサンス ビジョン・5カ年基本計画（案）の策定 お礼とご報告	4、5

江戸・東京歴史文化ルネッサンス 新 基 本 構 想

1. 世界は、21世紀初頭から、歴史的文化的創造による都市間競争（特に首都の都心部）の時代に入り、地球規模の大交流時代が到来している。一方、日本・都市東京の世界に類を見ない超少子・超高齢化社会の課題解決に、今、世界の注目が集まっている。
2. 都市東京は、四百年以上蓄積された世界に誇るべき、傑出した歴史文化遺産を潜在化させている。先進諸国のトレンド「クリエイティブシティ（歴史と創造都市）」とし、都市東京の歴史的伝統と文化的個性を創造し、世界に評価される文化遺産を目指していこう！
3. 静謐で、特別な環境にある皇居東御苑に、復元する「江戸城」は、日本一壮大で美しく、櫓、門、石垣、豊かな水を湛えたお堀は、勇大なスケールで城郭を包みつつ、江戸から東京へと変わりゆく旧城下町へと続いている。
今こそ、城郭都市東京を再生し都市の品格を創造しよう。近未来、江戸城は国の宝となり、国民の誇り（シビックプライド）となり、平和のシンボルとなろう。
4. 日本の城郭建築の最高到達点である「江戸城」は純国産の木材により復元し、伝統工法で、「日本の木・土・石・水・豊かな自然」と「伝統技術の継承」を世界にアピールしていこう。
5. 「伝統」と「革新」が共存・融合するコスモポリタンの文化都市東京にあっては、「江戸・東京歴史文化ルネッサンス（再生と活用）」により、住んで好し、訪れて佳し、楽しさのある都市東京の実現に向けて、新たなクリエイティブな産業を生み出していこう。
6. 歴史的文化的価値により「江戸・東京ブランド」を生み出し、東京から日本の津々浦々へ、東アジアへ、世界の国々へと発信していこう。双方向で交流しあい、力を合わせ歴史文化ルネッサンスを、国内外の「地方創生の礎」としていこう。
7. 江戸・東京歴史文化ルネッサンスは、国家的事業であり、それを支える歴史文化まちづくり運動を進める中核的存在を目指し、産学官民との協働を進め、一人ひとりの期待役割と使命を果たすことにより、持続可能な真の文化観光先進国を創造し、日本の発展に寄与していこう。

2018年4月

一般財団法人 江戸・東京歴史文化ルネッサンスの会

江戸城天守再建から、天守と本丸御殿等の復元に向けて
都市の品格を創り出す 江戸・東京歴史文化 ルネッサンス ビジョン・5カ年基本計画（案）

一般財団法人 江戸・東京歴史文化まちづくりルネッサンスの会

- 「江戸城ルネッサンス基本計画書（保存・再生、復元、活用等）（仮称）」を策定します：
江戸城の天守、本丸御殿、櫓、門、石垣、濠等の歴史的建造物の復元、再生、保存、活用等及び城下町についての調査・研究を進めます。
- 自然保護、公園緑地、環境、景観を大切にします：
江戸城ルネッサンス基本計画の策定に当たっては、対象とするエリアや歴史的建造物等を決定し、自然保護、公園緑地、環境、景観を大切にした上で、回遊ルート・エリアマネジメントを策定します。

- 伝統と革新、共存と融合のクリエイティブな産業化を検討します：
ロンドンやニューヨークの事例、文化庁、東京文化ビジョンが示す文化財の活用等、あらゆる可能性を追求します。東京がもつ歴史的文化的な価値を「江戸・東京ブランド」として、内外に強くアピールしていきます。
- 世界で競う東京の都市間競争力を強化し、文化観光先進国（都市）を目指します：
世界に類を見ない江戸・東京の傑出した歴史文化遺産を顕在化し、世界に発信して参ります。歴史文化まちづくり運動との連携を進め、日本各地の城郭都市、世界の城郭都市と交流を進めます。

- 1 江戸城ルネッサンス基本計画書を視野に入れつつ、事業運営推進の体制整備を調査検討します：

- 2 関係所轄庁等の協力を得て江戸城ルネッサンス基本計画の検討を進めます：

千代田区、東京都、文化庁、観光庁、林野庁、国土交通省、環境省、宮内庁、内閣府、江戸博等

- 3 必要な許認可について関係省庁への要望・提言活動を進めます：

- 4 新事業主体である一般財団法人から公益財団法人の認定取得を目指します：

公益目的事業や法人自治によるガバナンスの厳格化、自己責任経営、寄付優遇税制による国民参加等の基盤整備を進め、できるだけ早い段階で公益財団法人の認定取得を目指します。

- 5 江戸城跡整備等資金計画を検証する一方で、経済波及効果の測定を行ない、築城募金の仕組づくりを検討します：

歴史的建造物の復元並びに櫓、門、濠、石垣等の整備費等を通算して総額約1000億円
(参考2013年12月日本都市計画学会)

- 6 検討委員会を設置し、専門機関等に委託します：

江戸城ルネッサンス基本計画委員会（仮称）は、学識者等で構成するワーキングチームなどを編成し、「江戸城ルネッサンス基本計画書」を策定します。会員で構成する検討委員会からも、会員や市民の皆さまの声を反映して参ります。



公益社団法人 日本都市計画学会
「江戸城寛永度天守再建調査検討委員会報告書」
(平成25年12月) 10頁

- 1 富士見櫓
- 2 蓮池濠
- 3 江戸城本丸園
- 4 松の廊下跡
- 5 富士見多間
- 6 石室
- 7 本丸
- 8 本丸休憩所
- 9 展望台
- 10 緑の泉
- 11 大番所
- 12 白鳥濠
- 13 同心番所
- 14 百人番所
- 15 汐見坂
- 16 天守台
- 17 美部庁舎
- 18 桃華楽堂
- 19 書院部庁舎
- 20 梅林坂
- 21 天神濠
- 22 諏訪の茶屋
- 23 都道府県の木
- 24 二の丸雑木林
- 25 二の丸庭園
- 26 ハナショウブ
- 27 二の丸休憩所
- 28 大手休憩所
- 29 三の丸尚蔵館
- 30 皇居東御苑管理事務所
- 31 皇宮警察本部



宮内庁ホームページより「皇居東御苑の略図」(2017年9月21日閲覧)

※当会編集部分：番号表を左に移動

- 7 江戸・東京歴史文化ルネッサンスの国家的事業を支える市民の交流・連携による国民的運動を進めます：

産官市民の協力を進め、公益に資する社会的使命を果たすことにより、文化観光先進国を創造し、日本の発展に寄与できるよう、国家的事業と運動の共創による一体的発展を目指して参ります。本基本計画（案）については、みなさまと一緒に意見交換を進め、提言活動に反映させて参ります。

江戸・東京歴史文化ルネッサンス ビジョン・5ヵ年基本計画（案）の策定
お礼とご報告

新事業主体設立に至る経緯：

私達は、皇居東御苑に遺された台座の上に、江戸城天守を再建し日本を代表する歴史と伝統文化のシンボルをつくりたいと念願し、多くの市民、国民の賛同、支援の声を東京都と国に届けるべく、平成16年（2004年）民間の一市民団体として「江戸城再建を目指す会（理事長小竹直隆）」を設立し、それ以降、12年に亘りNPO市民運動として持続的な活動を展開して参りました。

平成26年（2014年）権威ある第三者機関の調査研究により、皇居東御苑での天守再建は、NPO法人では、不可能に近いと検証された経緯を踏まえて、平成27年並びに28年度の認定NPO法人「江戸城天守を再建する会」の通常総会において新事業主体・一般財団法人を設立し、公益財団法人を目指すことを決議致しました。一方、平成29年、前述のNPO法人は世論喚起を目的に存続を総会で決議致しました。

平成29年1月24日、新事業主体である一般財団法人「江戸城天守再建・歴史文化まちづくりルネッサンスの会」を、前述のNPO法人理事長小竹直隆他のNPO理事等により、清々粛々と設立致しました。

これまでの多くの市民、篤志家、学識者、CSR等の皆様からのご支援に深く感謝を申し上げますと共に、財団設立に当たりご支援ご協力を頂きましたこと、重ねて御礼を申し上げます。誠に有難うございました。

今、新たな分水嶺の時：

平成28年5月に発表された、「江戸城天守復元調査研究報告書・（三浦正幸広島大学大学院教授）」並びに同年11月に策定された「基本構想・江戸城天守再建を中核とする歴史文化ランドデザイン・（座長伊藤滋東京大学名誉教授）」は、市民運動12年の集大成として、本年1月に設立された新事業主体・一般財団法人「江戸城天守再建・歴史文化まちづくりルネッサンスの会」に向けて提言され今日に至っております。この間、学識者等と天守復元の課題を通し、様々な観点から基本構想を検証した結果、今、新たな分水嶺の時、を迎えております。

江戸・東京歴史文化ルネッサンス ビジョン・5ヵ年基本計画（案）について：

江戸から東京へ変わりゆく江戸城と城下町周辺における歴史文化ルネッサンス（再生・活用）の目指すべき近未来像とその実現に向け、進めていく上での基本的な考え方や方向性を示し、中長期に向けたビジョンを構想致しました。

5ヵ年基本計画（案）は、ビジョンを実現するための施策を体系的に定めており、今後は、事業年度ごとの事業計画として、具体的施策をお示しする予定です。5ヵ年基本計画（案）は、市民・国民、産学官民と財団がその内容を共有し、同じ目標に向かって進む為の指針により、双方が協働し、公益に資する社会的使命を果たして行こうとするものです。

天守復元から江戸城ルネッサンス（再生・活用）への背景：

皇居東御苑の台座（国の特別史跡）に復元する天守は、江戸城建造物復元の中でも極めて難題であることに、加えて、天守復元だけでは、学識者を含めた広範囲な合意形成が難しいという事実が明らかになりました。（文化財保護法第43条現状変更の制限等）

江戸城址は、元来、世界遺産に十分に匹敵し得る歴史的、文化的遺産であると云われております。史跡内歴史的建造物の再建は、国際憲章（ベニス憲章）の厳しい条件付きの下で可能となっており、文化財等保護については、国内はもとより、国際的視野からも厳しい法的制約が課せられております。

即ち、江戸城址から城下町へという広範囲にわたる全体計画の一環として、江戸城天守復元を位置づけると共に、極めて肝要なことは、江戸城本丸御殿を含めた全体計画を構想し、始めて世界的な評価に込め得る、「今日的意義」の策定が可能となり、広範囲な合意形成に至るとの認識に至りました。

都市の品格を創造して行く：

世界に類を見ない傑出した歴史文化遺産の多くは潜在化し、四季折々の自然と豊かな水を湛えたる濠に囲まれ、雄大なスケールの城郭都市東京の歴史性は、今、失われつつあります。江戸から明治・東京へと四百年以上に亘り、移り変わりゆく都市東京の歴史的伝統と文化的個性により、新たな都市の品格を創造していく、まさに「今、その時が来た。」と云えるのではないかと存じます。

世界の首都は、歴史的文化的創造により競う時代に：

首都東京の都心部は、現在、世界の都市間競争にさらされております。訪日観光客が増大する一方で、都市東京は、世界5大都市の一つと云われながらも文化交流面で、大きく遅れを取ってきた現状があります。

参照：世界の都市総合ランキング（森記念財団）

私達の社会的使命：

私達は、江戸・東京歴史文化ルネッサンスの国家的事業とそれを支える市民の交流・連携による国民的運動を進め、世界に発信する文化観光先進国・都市東京の近未来に寄与すべく、新たな分水嶺の下で、事業と運動の共創による一体的発展を目指す観点から、改めて、江戸・東京歴史文化ルネッサンスの重要性と公益に資する社会的使命を認識するに至った次第であります。

皆さまには、どうか、この事業と運動に、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に、一人でも多くの皆さまのご参加を、心よりお待ち申し上げます。

2017年10月11日
一般財団法人 江戸・東京歴史文化ルネッサンスの会
（旧名称）江戸城天守再建ルネッサンス（略称）
代表理事 小竹直隆

お問い合わせ

名称	一般財団法人 江戸・東京歴史文化まちづくりルネッサンスの会 事務局 (旧名称) 江戸城天守再建ルネッサンス (略称)
住所	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-20ワカヤギビル501号
F A X	03-6261-6813
メールアドレス	info@zaidan-edojo.or.jp
ホームページ アドレス	https://zaidan-edojo.or.jp/ 「江戸城ルネッサンス」でご検索ください。 「設立の経緯と背景、今後に向けて」、「設立概要」等は「会の概要」をご覧ください。
開局日	毎週月曜日から木曜日の、午前10時から午後4時まで
お休み	金・土・日、祝祭日、年末年始等 当会の事情により、事務局開閉日・時間を変更させて頂く場合がありますので、予めご了承ください。